

令和5年度事業報告書

(特定非営利活動法人の名称)

NPO法人3. 11こども文庫

1 事業の成果

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策を駆使しながら、これまでと同様、東日本大震災以来、ボランティアで各個人が実施してきた各事業をNPO法人として継続して取り組みながら、東京事務所（東京都足立区）および2つの活動拠点（以下、にじ文庫（福島県相馬市）、おひさま文庫（千葉県東金市））での事業の拡充を行った。

今年度も東日本大震災の被災地の子どもたちへ「アート」をテーマに支援活動を続けてきた。同時に、被災地のみならず、子どもたちを取り巻く厳しい社会状況にも目を向け、「子ども×アート」をテーマに、子どもの元気、地域の活力に役立つための様々な活動を行ってきた。

特定非営利活動に係る事業としては、「こども文庫」事業、「こぼこ文庫」事業、絵本の管理・配布事業、「3月11日の、あのね。展」等の展覧会事業、講演会等講師派遣事業、この法人の広報・情報発信事業、子どもの生活・学習支援の拠点となる地域密着型の学童保育事業などを実施した。同時に「こども文庫」事業に充てるための寄付金などを集めた。具体的には、次のとおりである。

【東京事務所】

東京都練馬区など被災地以外の自治体から業務を受託し、被災地と全国各地をつなげる活動や、子どもを対象としたアートワークショップの企画・運営を主に行なっている。練馬区の「こどもアートアドベンチャー」では、練馬区立区民・産業プラザココネリ・ホールで、現在活躍中のさまざまな分野のプロのアーティストたちによる参加型ワークショップを開催、今年度は13のブースを設けた。ステージ企画もその年のテーマに沿った内容で企画し、会場内で音楽やショーも楽しみながらアートに触れる子どものためのイベントとなっており、今年度は約3,500名の子どもたちが参加した。また、展覧会活動も実施し、「3月11日の、あのね。#13」を開催した。

【にじ文庫】

にじ文庫は当団体の事業の柱として2012年9月に福島県相馬市に開設。令和5年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、換気、マスク着用、手指消毒を徹底。入館者はコロナ前より3割から5割減少したが、通算128日の開館を行い、利用者数は年間371人であった。にじ文庫の運営については助成金を獲得しており、これをもとに現場スタッフの献身的な貢献により、運営を滞りなく行うことができた。

7月9日（日）に、絵を描いて染める藍染講師に南相馬市在住の林万妃江さんを迎え、藍液（藍を絞った液）を絵筆につけてハンカチに絵を描いた。布の上で藍液が緑色から青に変化する様子に歓声があがった。参加人数は24名。

10月21日（土）に、ハロウィーンパーティーを4年ぶりに開催した。参加者は、みんなすてきな衣装で参加し、相馬市中村のまちをひとまわりした。商店の皆さんにも協力いただいて、お菓子をいっぱいもらった。そして、舞台の演出家などとして活躍する木村準さんとの体をいっぱい使った「演じるワークショップ」では、動物になってみたり、声を出してみたり、最後には保護者の皆さんも参加して、ミニお化け屋敷を作ってとにかく笑いっぱいなしの楽しい時間を過ごした。参加人数は32名。

12月16日（土）は、クリスマスの絵本の読み聞かせののち、2024年の干支となる「辰」の木工細工に取り組んだ。相馬市在住の彫刻家・佐藤忠博さん（2016年第90回記念国展で彫刻部 F氏特別賞を受賞。2017年個展「モクチョーシンドローム佐藤忠博」（松村外次郎記念庄川美術館）現在、図画会会員）を講師にお迎えして、親子で作品作りに取り組んだ。参加人数 24名。

2024年2月10日（土）「3月11日の、あのね。＃13」出展の作品制作クリスマス会の講師・佐藤忠博さんを招き、馬の木工細工に取り組んだ。相馬野馬追にちなみ、今回は馬の木工作と旗（木片に絵を描いた物。旗は自分の印という意味がある）を組み合わせ、大きなモビールの共同作品に仕上げた。参加人数は14名。

【おひさま文庫】

「おひさま」文庫（2018年11月、千葉県東金市に開設）は、恵まれた自然と絵本やアートに囲まれた環境を活かして、「おひさまの家」（2022年9月開設）を中心に既存施設「おひさま文庫」を併用した子ども達が放課後に安心して過ごせる居場所の提供を行い、地域の人たちの協力も得て各種ワークショップやイベント、おひるの食堂等を実施してきた。

おひさま放課後クラブ（民間学童保育）は1年間の利用者数がのべ4,100人であった。子ども達の利用者数は前年度に比べて約15%減少した。その主な要因は前年度まで中心的存在だった6年生が卒業し、3～4年生に中心が移ったことで子ども達の諸相が変わり、様々な悩みや課題を抱える子どもへの対応が遅れたこと等の影響と思われる。

ワークショップやイベントは、地元の各種団体や住民の方々が積極的に関わり企画提案もしてくれる等、そのつながりを深めることができた。恒例行事になっている餅つき会に加えて、初めて開催した「おひさま蓮華まつり」にはたくさんの人々が集まった。

毎月開催したおひるの食堂（所謂子ども食堂）はイベントとセットで行う等、利用者が参加しやすくなる工夫をした。

困難な状態にある子どもの一時預り保育等の支援を実施し、一年間で延40名以上の利用があった。

これらの事業の運営には、日本財団「東金市における『子ども第三の居場所』コミュニティモデル運営事業」による助成のほか、株式会社丸山製作所をはじめ各種団体や個人の方からの寄付金を活用した。

またこれらの事業を持続可能なものとするため、「おひさまの家」1階で日替わりランチやカフェ営業等を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施日 時	実施場所	従事 者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出 額 (千 円)
「こども 文庫」事業	福島県相馬市に開設したこども文庫“にじ”の維持管理を含めた運営業務等を行った。また、ワークショップも開催した。	毎 週 3 日 (火・ 木・ 日) 10時～ 17時開	にじ文庫	7人	県民および 市民約371 人	632
「こぼこ 文庫」事業	福島県相馬市の小学校9校に、文庫60箱を配置し、巡回させ、管理をした。	随時	福島県相馬 市内小学校	5人	1,000人以上	—
絵本の管理・配布 事業	寄付された絵本の受入、仕分け作業、管理とその配布を行った。	随時	「にじ」、 「おひさま」の各文庫	20人	1,000人以上	—
その 他、 この法人 の目的の 達成のため に必要な事業	練馬区の「こどもアートアドベンチャー」等の業務受託。スタッフ等の人材の発掘・育成。各種団体との連	8月	東京都練馬 区	10人	約3500人	4,400
	「おひさま」文庫の運営。 絵本を楽しめる場所の提供や絵本の貸出、ボランティア団体による「絵本の読み語り」な	随時	おひさま文 庫	2人	市民（隣接 市町含む） 約 500人以上	—
	困難な状況にある家庭（行政機関から紹介あり）への支援（一時預り保育）	随時	おひさまの 家とおひさ ま文庫	3人	市民（隣 接市町含 む）約50 人以上	400
	おひさま文庫に併設した「おひさま放課後クラブ」の運営。こども食堂、各種ワークショップの実施など。	放課後 利用可	おひさまの 家とおひさ ま文庫	15人	市民（隣接 市町含む） 約1,000人 以上	6,000

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施日 時	実施場所	従事 者の 人数	受益対象者 の 範囲及び人 数	支出 額 (千 円)
書籍・グ ズ等の物 品販売事 業	過去に製作した各種グ ッズを展覧会等で販	随時	各展覧会場	10人	130人	—
	おひさまの家カフェ等 での各種物販	随時	おひさまの 家	1人	—	150

※主な事業実施一覧

1. 東京事務所の事業

開催月	開催場所	事業名
8月	東京都練馬区	練馬区主催 「こどもアートアドベンチャー」プロデュース
3月	東京都渋谷区	3月12日～3月19日「3月11日の、あのね。#13 ぼく の、わたしの友だち 原画展」 こくみん共済coopホール/スペースゼロ ※「にじ」「おひさま」の各文庫の子どもたちの作品 や活動状況の報告をパネル展示した。

2. にじ文庫の事業

開催月	開催場所	事業名
4月～3月	福島県相馬市 「にじ」文庫	こども文庫「にじ」運営業務（週3日開館） 新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮しながら開 館。 開館128日間/来館者371名/貸出345冊 にじだよりの発行 2023年は年3回発行。毎号3,000部。市内小学校、幼稚 園、保育園（所）、公共施設等に配布。 ・7月9日（日）絵を描いて染める藍染 ・10月21日（土）ハロウィーンパーティー

4月～3月	福島県相馬市 市内小学校等	こばこ文庫管理、運營業務 市内全小学校9校1～3年生及び特別支援学級におよそ 30冊入りのこばこ文庫を60箱程度設置し、学級文庫と して活用してもらい、読書に親しむ機会の拡充に努め る。 毎年3月に回収、4月に補充して再配置。
-------	------------------	--

4. おひさま文庫の事業

開催月	開催場所	事業名
4月	おひさまの家ほか	*おひさま蓮華まつり（子ども100名、大人160名）
5月	おひさまの家	*たけとんぼを作って飛ばそう（子ども9名、大人2名）
5月	おひさまの畑	さつまいも苗植え体験（子ども6名、大人2名）
6月	おひさまの家	*うどんを打って食べる（子ども14名、大人9名）
8月	おひさまの家	夏休み工作教室「木工」（子ども18名、大人3名）
8月	おひさまの家	*手巻き寿司づくり（子ども20名、大人13名）
8月	おひさまの家ほか	*ランチバックおひる食堂（子ども19名、大人10名）
8月	おひさまの家の庭	おひさま納涼会（子ども32名、大人29名）
9月	おひさまの家・隣	*防災食を作って食べる1（子ども8名、大人13名）
10月	おひさまの家の庭	お月見会（子ども11名、大人2名）
10月	おひさまの家の庭	ハロウィン（子ども25名、大人7名）
10月	おひさまの家	
12月	おひさまの家	*看板づくり（子ども8名、大人4名）
1月	おひさまの家	*餅つき会（子ども36名、大人71名）
2月	おひさまの家の畑	*防災食を作って食べる2（子ども10名、大人13名）
2月	丸山製作所千葉工場	*陶芸教室1（土鈴づくり）（子ども23名、大人15名）
3月		夜の親子食堂（子ども15名、大人14名）
3月		*おひる食堂(子ども14名、大人7名)
3月		*陶芸教室2（野焼き、色付け）（子ども13名、大人4名）
		丸山製作所の工場見学（子ども12名、大人5名）
		1) *印は、行事と一緒に「おひる食堂」を開催したもの
		2) おひる食堂は所謂「こども食堂」のこと
		3) 大人の参加者数にはスタッフ人数を含む。

8、12、3月	地元福岡地区及び隣接地区	おひさま文庫新聞を年3回発行（発行部数：毎回2000部）、おひさま文庫の地元福岡地区（新聞折込み）のほか、近隣小学校、こども園、幼稚園、東金市立図書館、周辺地域の商店等に配布
---------	--------------	---